

ご縁をつなぐ、丸い紙管で円から縁へ

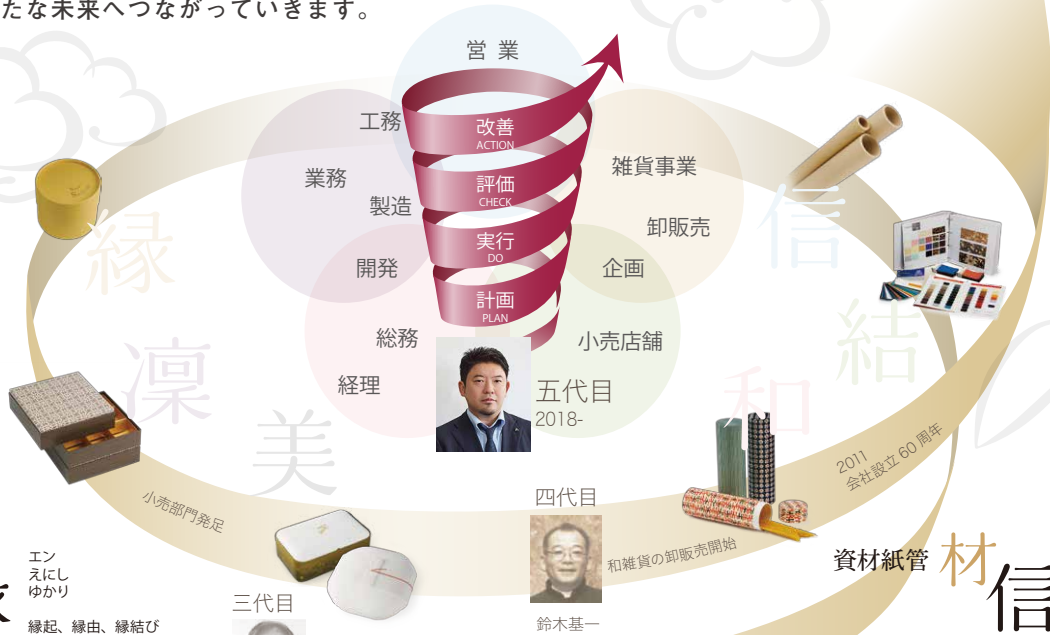
～スパイラル(螺旋)から縁を感じ・学び・創造し・伝えていく～

「縁」とは、「人と人のつながり」です。企業創造力は、お客様に心から満足いただけるよう創造する、人のつながりやひとりひとりの人の質が大切です。私たちが創業から製造する紙管は、紙が螺旋状の「円」を描きながら重なり巻かれ、つながり、丸く真っすぐな、強い品質の紙管となります。その様子は、「えん」からなる「人の成長」や「人の和・組織」「技術の進化」「企業の発展」「文化の継承」といった事に形容されるのではないのでしょうか。

また、企業活動に於いても、「計画」Plan→「実行」Do→「評価」Check→「改善」Act を実施し、「改善」を次の「計画」に結び付け、螺旋状に品質の維持向上、継続的な業務改善を行う PDCA サイクルを表す図としてもスパイラルが用いられています。

スパイラルの「縁」のように、他の商品から指針となる言葉として「縁・信・凜・和・美・結」が例えられます。その言葉がもつ意は、技術者(工務/製造)の精神であり、支える者(総務/経理)の志し、創造する者(企画開発)のテーマ、伝える者(営業)の誇りとなり、商品の品質とつながっていきます。

「すべては人の質にある」から始まるということ胸に、これからも皆様と「縁」「人づくり」を大切に、150年、200年へと伝統や歴史を刻んで新たな未来へつながっていきます。



紙管容器 丸縁
エン えにし ゆかり
縁起、縁由、縁結び

紙管容器は、丸い角のない円状の「縁起」の良い容器です。紙管から広がった「縁」はさまざまな商材や人と未来へとつながっていきます。

- ・得意先、当社、仕入先の三位一体のスクラムは縁である。
- ・物事の縁由を知り、考え、行動する。
- ・古都の、土地柄を活かした縁(ゆかり)ある物づくりと、誇りをもつこと。

三代目
鈴木一郎

京都市より優良中小企業として表彰を受ける

1994 創業百周年

京都府知事より「京の老舗」表彰を受ける

見本帳スタート

スパイラルマシン導入

1952 会社設立

Vカット容器 角凜
リン り(りしい)
凜乎、凜々しい

紙1枚を残し真っすぐにV字カットする技は、紙とは思えないシャープな角が作られます。その箱は、美しい「凜」とした仕上がりになります。

- ・凜とした姿勢は、高い技術や高品質を生む現場作りの基となります。
- ・筋の通った意見や行動をとり、凜々しくあることで社の手本となる。
- ・お客様の気持ちを形に、美しい凜とした品質を提供する。

エトナ磨粉の紙管容器製造開始

アイスクリームカップの生産

紙製の芯木「改良真木」を発表

亀屋陸奥「松風」の紙の筒納入始める

万華鏡との出会い

二代目
鈴木誠一

和雑貨 染和
ワ なご(む) やわ(らく)
平和、調和、和み

自社の雑貨は、布染め手法の柄紙などのこだわり素材を用い作られます。その風合いは、こころ和む小物として京の文化を伝えます。

- ・心をこめ作られる物は、安心感と和みをあたえます。
- ・伝統と革新を取り込み調和させ、新しい価値を発信する。

絞りプレス容器 曲美
ビ、ミ うつく(しい) ほ(める)
美学、甘美、和風

素材を知り、成形する技により、紙の絞りプレス容器は生まれます。紙の風合いと曲線のもたらす「美」は新しい価値を創造します。

- ・素材を活かす加工・技により、新たな美をお客様へ提供する。
- ・生産現場の確認・検品、美しさの追求は品質管理に繋がります。

1893 一代目
鈴木宇吉郎

見本帳 綴結
ケツ むす(ぶ) ゆ(う)
結束、結合、結び

見本帳は、複数のものを束ね綴じます。商品と番号、写真などの異なる素材や情報を正確に見やすく「結ぶ」ことが役目となります。

- ・物をより良く表現し、商品とお客様とを結ぶ商材が見本帳。
- ・社内や仕入、加工、内職先との結束が必要。
- ・紙と布地や建材などの異素材を貼る(結合)ノウハウが必要。